同位体比部会プログラム

11月8日（水）

受付：13:00 ~ 14:00	開始時間	時間			
			座長：下田　玄		
口頭発表1	14:00	20	顕微ラマン分光法による二酸化炭素の非破壊炭素同位体分析法の開発と応用の可能性	○荒川雅1、山本順司2、鍵裕之1、森俊哉1、福良哲史1	1 東京大学、2 京都大学
口頭発表2	14:20	20	マントルを駆け巡る炭酸流体の起源	○山本順司1・荒川雅2・平野直人3・羽生毅4・三浦弥生2・鍵裕之2	1 京都大学, 2 東京大学, 3 東京工業大学, 4 JAMSTEC
口頭発表3	14:40	20	Early Cretaceous seawater Os isotope composition: Evidence for Ontong Java Plateau and OAE1 link?	○[1,2]Tejada, M. L. G. [1]Suzuki, K., [1]Kuroda, J., [3]Coccioni, [1]Sakamoto, [1]T., Tatsumi, Y., and [4]Mahoney, J. J.	[1]IFREE, JAMSTEC, Japan; [2]NIGS, Univ. Phils., Philippines; [3]IGCG, Univ. Urbino, Italy; [4]SOEST, Univ. Hawaii, USA
口頭発表4	15:00	20	キンバーライトマグマのオスミウム同位体組成	○仙田量子1、鈴木勝彦1、兼岡一郎2	1 IFREE, JAMSTEC、2 東大地震研
口頭発表5	15:20	20	極東アジア・シホテアリン地域のメイメチャイトのK-Ar年代と希ガス同位体組成	○佐藤　佳子1、田村　肇2、熊谷　英憲1、Vladmir Prikhodko3	1 JAMSTEC,IFREE、2　JAMSTEC,高知コア研、3　ハバロフスク地質テクトニクス研究所
休憩	15:40	20			
			座長：長尾敬介		
特別学術講演1	16:00	60	レーザー共鳴イオン化質量分析法による同位体計測	○渡辺賢一1、井口哲夫1	1 名古屋大学
口頭発表6	17:00	20	NanoSIMSを用いた耳石中のSr同位体測定	○佐野有司1、高畑直人1、白井厚太朗1、天川裕史1、大竹二雄1	1 東京大学海洋研究所
			座長：平田岳史		
ポスター紹介	17:20	60	ポスター内容の概略紹介（ひとつのポスターにつき2分間、パワーポイント使用）		
夕食：18:30〜19:30					
ポスター発表	19:30	120			

11月9日（木）

朝食　7:00 〜 8:30	開始時間	時間			
			座長：鈴木勝彦		
口頭発表8	9:00	30	少し乱暴な、でもほんとかも知れない話	○小嶋稔1	1 東大
口頭発表9	9:30	20	希ガス同位体を用いたCRコンドライトNWA852の研究	○飯尾浩之1、長尾敬介1	1 東京大学大学院地殻化学実験施設長尾研究室
口頭発表10	9:50	20	始源的隕石から物理的に分離させた疎水性物質の希ガス同位体組成	○松尾行浩1、松田准一1、甘利幸子2、奈良雅之3	1 大阪大学、2 ワシントン大学、3 東京医科歯科大学
口頭発表11	10:10	20	鉄隕石Y-791076の希ガス同位体組成：^{129}Xeの同位体異常について	○山本征生1、長尾敬介1、馬上謙一1	1 東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設
休憩	10:30	20			
			座長：中川書子		
口頭発表12	10:50	20	ケイ素同位体比測定について	○野村雅夫1、藤井靖彦1	1 東工大・原子炉研
口頭発表13	11:10	20	KHF_2-CoF_3法による石英及び生物起源シリカの三種酸素同位体組成の分析	○森本真紀1, 阿部理1, 河合崇欣1	1 名古屋大学
口頭発表14	11:30	20	オーストラリア大鍋井盆地の地下水進化と^{36}Clと溶存He濃度の相関	○馬原保典1、リーン・ハーバーメル2、嶋田純3	1 京都大学、2 The Bureau of Rural Sciences、3 熊本大学
口頭発表15	11:50	20	陰イオン交換における亜鉛の塩酸溶液中での同位体効果	○鈴木達也1、野村雅夫1、池田篤史1、藤井靖彦1、高岡徹2、小熊幸一2	1 東京工業大学、2千葉大学
昼食 12:20 〜 13:30	12:10	70			
			座長：山本順司		
口頭発表16	13:20	20	塩化物結晶水和物の酸素同位体組成	○垣内正久1、野村雅夫2	1 学習院大理　2東工大原子炉研
口頭発表17	13:40	20	液体窒素で水滴を氷結させたときの水損失及び水素・酸素同位体分別	○江口景子1、阿部　理1、檜山哲哉2	1 名古屋大学環境学研究科、2 名古屋大学地球水循環研究センター
口頭発表18	14:00	20	連続フロー型質量分析計を用いた硝酸の$d^{17}O$定量法開発	○小松大祐1、大久保智1、石村豊穂1、中川書子1、角皆潤1	1 北海道大学
口頭発表19	14:20	20	重元素の同位体分別から読む地球表層環境の変遷	○大野　剛1,2、小宮　剛1、上野雄一郎1、平田岳史1、丸山茂徳1	1 東京工業大学、2 現所属　環境科学技術研究所
口頭発表20	14:40	30	Multi Exposure History of Gibeon Iron Meteorite	○本田雅健1	1 日本大学
休憩	15:10	20			

			座長：平田岳史		
特別学術講演2	15:30	60	ICP-MSの開発とその興味	○阪田健一1	1 横河アナリティカルシステムズ（株）
			座長：飯塚　毅		
口頭発表20	16:30	20	Pb isotopic analysis by ICP-MS using multiple ion counters	○谷水雅治1	1 海洋研究開発機構 高知コア研究所
口頭発表21	16:50	20	レーザーアブレーション（Nd-YAG　213nm波長）ICP質量分析装置によるジルコンのU-Pb年代測定の確度と精度について（タイトル変更の可能性あり）	○折橋裕二1、中井俊一1、平田岳史2　あるいは　折橋裕二1・三部賢治1・中井俊一1・藤井敏嗣1	1 東大地震研、2 東工大理工
口頭発表22	17:10	20	レーザーアブレーション時における鉄同位体分別機構の解明	○山本洋輝1、平田岳史1	1 東京工業大学
口頭発表23	17:30	20	真空セル方式レーザーアブレーション-ICPMS法による固体試料の元素分析	○平田岳史1	1 東京工業大学大学院理工学研究科
懇親会	19:00	120			

11月10日（金）

朝食　7:00 ～ 8:30

	開始時間	時間			
			座長：大野　剛		
口頭発表24	9:00	20	鉄隕石中のタングステン同位体組成	○入澤啓太1、平田岳史1	1 東京工業大学
口頭発表25	9:20	20	海洋島玄武岩のW同位体比を用いたコア・マントル相互作用の検証	○賞雅朝子1、中井俊一1、Sahoo Yu Vin1、羽生毅2、Tejada Marrisa2	1 東京大学地震研究所、2 JAMSTEC
口頭発表26	9:40	20	初期地球試料のタングステン同位体分析：コアーマントル初期分化への制約	○飯塚　毅1、中井　俊一1、サフー　ユービン1、賞雅　朝子1	1 東京大学地震研究所
口頭発表27	10:00	20	Total evaporation normalization 法による極微量Ndの同位体比測定	○若木重行1・柴田信之介1・田中剛1	1 名古屋大学　環境学研究科
休憩	10:20	20			
			座長：谷水雅治		
口頭発表28	10:40	20	浜砂スピネル計画（案）	○清水健二1	1 IFREE, JAMSTEC
口頭発表29	11:00	20	九州弧火山フロント第四紀マグマの化学的特徴の島弧縦断方向変化	○柴田知之1、小林哲夫2、杉本　健1、氏家　治3、伊藤順一4、西村光史1、竹村恵二1	1 京大・地熱、2 鹿大・理、3 富大・理、4 産総研
口頭発表30	11:20	20	有機態窒素の高感度安定同位体組成定量法開発と窒素固定速度定量への応用	○角皆　潤1、木戸唯介1、廣田明成1、大久保智1、小松大祐1、中川書子1	1 北海道大学
口頭発表31	11:40	20	同位体比健康診断（パート2）	○松田准一1、丸岡照幸2、丸田晋司1	1 大阪大学、2筑波大学
ビジネスミーティング	12:00	15			
昼食（申込者のみ）					

ポスター発表	P	1	Google Earthをビューアーとしたトモグラフィデータと地球化学データの統合利用システムとその応用	○鈴木勝彦1, 山岸保子1, 田村肇2, 谷中洋司3, 坪井誠司1	1 IFREE, JAMSTEC, 2 KICSR, JAMSTEC, 3 富士通
	P	2	Nano-SIMSを用いたマンガンクラスト中の鉛同位体比測定の試み	○高田雄一郎1	1 東大海洋研
	P	3	大気中のHe同位体比の精密測定	○徳竹大地1、高畑直人1、佐野有司1	1 東京大学　海洋研究所
	P	4	The Chemical separation technique using Ln resin(eichrom) for partitioning of Nd from geological samples	○平原由香 1,高橋俊郎 1,宮崎隆 1	1 JAMSTEC/IFREE
	P	5	重元素の高精度安定同位体比分析法の開発	○大野　剛1,2、平田岳史1	1 東京工業大学、2 現所属　環境科学技術研究所
	P	6	ストロンチウムを用いた安定同位体地球化学のための試料分解法および化学分離法の開発	○福士裕輔1、平田岳史1、大野剛2	1 東京工業大学、2 環境科学技術研究所
	P	7	炭酸塩岩中の安定同位体地球化学	○若林貴弘1、福士裕輔1、大野剛2、平田岳史1	1 東京工業大学大学院地球惑星科学専攻、2 環境科学技術研究所
	P	8	サンゴ骨格中の微量金属元素の測定とその手法の評価	○纐田志保1、茅根　創2、白井厚太朗1、高畑直人1、佐野有司1	1 東京大学海洋研究所　先端海洋システム研究センター、2 東京大学大学院　理学系研究科
	P	9	インドネシアの鍾乳石を用いた古気候変動解析（予察）	○渡邊裕美子1、松岡廣繁1、大沢信二2、山田誠3、北岡豪一3、木口雅司4、里村雄彦1、上田純1、栗崎弘輔5、吉村和久5、中井俊一6、Budi BRAHMANTYO 7、Khoiril A. MARYUNANI 7、田上高広1、竹村恵二2、余田成男1	1 京大・地惑、2 京大・地熱、3 岡山理大、4 東大・生研、5 九大、6 東大・地震研、7 ITB
	P	10	Nano-SIMSによる炭酸塩分析の標準試料の作成	○小林紗由美1、白井厚太朗1、高畑直人1、佐野有司1、高橋栄一2	1 東京大学海洋研究所、2 東京工業大学
	P	11	NanoSIMSを用いた白亜紀黒色頁岩の有機物化石の有機炭素同位体分析	○黒田潤一郎1、高畑直人2、白井厚太郎2、大河内直彦1、佐野有司1	1 JAMSTEC/IFREE、2 東京大学海洋研究所
	P	12	生体試料における高精度カルシウム安定同位体比測定法の開発	○田野島三奈1、菅彰信1、2、篠原厚子3、千葉百子4、平田岳史1	1 東京工業大学大学院　2 Nikon　3 順天堂大学　4 国際医療福祉大学
	P	13	クラウンエーテル樹脂によるカルシウム同位体分離	○早坂賢士1、野村雅夫1、鈴木達也1、藤井靖彦1	1 東京工大・原子炉研

P	14	顕微分光分析とレーザー希ガス局所分析によるキンバーライト中のマントル起源流体に関する研究	○松藤京介1、角野浩史1、兼岡一郎2、Alexander V.Sobolev3、饒裕之1	1 東京大学理学研究科　2東京大学地震研究所　3マックスプランク研究所
P	15	炭素同位体比を用いた海水中溶存メタンに関する研究	○中川書子1, 亀山宗彦1, 笹川基樹1, 廣田明成1, 三枝俊介1, 今野祐多1, 角皆潤1	1 北海道大学　大学院理学研究院
P	16	炭酸塩ノジュールを用いたメタン湧出域活動履歴の解明：日本海・上越沖の例	○渡邊裕美子1、中井俊一2、松本良3、蛭田明宏3、吉田邦夫4、小松原純子5、弘松峰男6	1 京大・地惑、2 東大・地震研、3 東大・地惑、4 東大・博物館、5 産総研、6 千葉大
P	17	凌風第二海山、望星海山、望星海山北東の起源	○下田玄1、石塚治1、山下勝行2, 3、吉武美和2、小笠原　正継1、湯浅真人1	1 産業技術総合研究所、2 神戸大学、3岡山大学
P	18	He同位体比測定用質量分析計の開発	○馬上謙一1、角野浩史1、岡崎隆司2、大澤崇人3、豊田岐聡4、石原盛男4、交久瀬五雄4、長尾敬介1、野津憲治1	1 東京大学、2 九州大学、3 日本原子力研究開発機構、4 大阪大学
P	19	火山岩の^{10}Be/^{9}Be比分析における確度向上の試み	○後反 克典1、中井 俊一1、松崎 浩之2	1 東京大学地震研究所、2 東京大学工学系研究科
P	20	Ar同位体比の精密測定に向けて	○宮川千絵1、松田准一1	1 大阪大学大学院理学研究科
P	21	水質変成によるCM2マーチソン隕石中の希ガス成分の変化	○塚本英智1, 西村智佳子1、松田准一1	1 大阪大学
P	22	Vaca Muertaメソシデライトの宇宙線照射の歴史	○長尾敬介1、馬上謙一1	1 東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設
P	23	東濃地科学センターにおけるVG5400および固体試料ガス抽出ラインの現状	○山田国見1、花室孝広1	1 JAEA
P	24	硝酸塩中の三酸素同位体組成定量法の開発とその応用	○大久保智1　小松大祐1　石村豊穂1　中川書子1　角皆潤1	1 北大院理　地惑システム
P	25	花崗岩の圧縮に伴って放出されるメタンの測定	○小泉早苗1、角森史昭1、野津憲治1	1 東京大学大学院理学系研究科
P	26	連続フロー型質量分析計による同位体測定の精度向上を目指して	○丸岡　照幸1	1 筑波大学
P	27	Two-step chemical separation of Lithium and precise determination of its isotopic composition by MC-ICP-MS	○Taehoon KIM1	1 ERI, Univ. of Tokyo
P	28	イオン交換法による窒素同位体高濃縮に関する研究	○有馬昌邦1、野村雅夫1、鈴木達也1、金敷利隆1、藤井靖彦1	1 東京工業大学

ポスター表示形式

2つのテーブルを並べた上に、ポスター1枚を置く予定

パワーポイントによるポスター紹介（2分間）について

1）パワーポイントファイル名(例)：P30-Hirata
2）1日目の受付時にUSBメモリーなどで担当者のPCにコピーする
（ポスター紹介までに、ポスター紹介順に並べたパワーポイントを作るため）
3）各自のパワーポイント枚数は2分以内に収まるようにする
4）各自のパワーポイントの1ページ目には以下の項目をわかりやすく表示する
ポスター番号、タイトル、発表者、所属